



みんな笑顔の学校づくり

糠沢っ子

～教育目標～

「考える子」

「優しい子」

「元気な子」

子どもも先生も元気が一番！！

師走…僧侶のような普段落ちついていても、この月は多忙で走り回るようになるという意味から名付けられたという説が多く見られますが、一説には、師＝先生も走るぐらい忙しい12月という意味もあるようです。とにかく、年末のこの時期、誰もが気ぜわしいのは間違いないのかもしれませんが。

12月は、お忙しいところ各種アンケートにご協力いただきありがとうございました。「学校評価アンケート」につきましては、現在、結果を集計・分析しているところです。児童アンケートと合わせて、2月に行われるPTA総会資料の中でお知らせする予定ですので、よろしく願いいたします。

アンケートからいただいた言葉を一部紹介します。

子どもも親も安心できる学校づくりをありがとうございます。学校生活の中で、勉強だけでなく、社会性や協調性を少しずつ身に付けているように思います。糠沢小学校は先生方全員で子ども達を見守り育ててくださっていることがよく伝わってきます。そんな温かい学校で学校生活を送ることができ、子どもは幸せです。

他にも、教職員に対する温かい言葉を多数いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。保護者や地域の皆様からの言葉に励まされ、教職員もがんばることができます。

子ども達も元気！！先生も元気！！な糠沢小学校であるために、今後も保護者の皆様のご理解をいただきながら、学校運営を進めていきます。ぜひ、これからも本校職員に対する励ましの言葉をいただければ幸いです。本校職員も、糠沢っ子のために、全力でがんばります。



歴史を知る 太々神楽と戦争体験

12月14日(水)には、3年生が糠沢地区に伝わる太々神楽を見せていただきました。

高松神社太々神楽は、氏子により引き継がれた出雲流の神楽だそうです。氏子の皆さんが代々保存継承しているところが、とても素晴らしい地域の宝だと思います。本宮市指定無形民俗文化財に指定されていますので、これからも大事に受け継ぎたい文化です。3年生にとっては、時代がタイムスリップしたような体験だったかもしれませんが、歴史を受け継ぐ大事な学習の時間となりました。

12月16日(金)には、地域の講師の方をお招きし、6年生の社会の学習で、第2次世界大戦時の戦争体験の話をお聞きしました。大戦が終わって80年近くたっていますので、当時の様子を生で語れる方も少なくなってきました。世界の中では戦争が行われています現在、当時の様子をお聞きし、平和について考える時間をもつことは大事なことだと思います。

「歴史は繰り返す」という言葉がありますが、繰り返すからこそ大切な物を受け継ぎ、忘れてはならないことを語り継ぐことが現代を生きる我々の使命です。どちらの体験も、糠沢っ子に響く体験でした。

